

校長室より

第91号

「天空高き」



平成29年1月16日

## 酉年を迎えー

2017年は干支の10番目、酉（とり）年です。

干支（えと）とは、「甲、乙、丙」ではじまる「十干」という暦と、ご存じ「子、丑（うし）、寅」ではじまる十二支という暦を組み合わせたものです。

この干支、古代中国から伝わってきたといわれていますが、3000年以上前の殷の時代にはすでに使われていたそうです。日本に渡ってきたのも非常に古く、弥生時代や古墳時代の地層から出土した鏡などに干支が刻まれています。

この干支に動物をあてはめるようになったのも中国で、紀元前4～2世紀頃だといわれています。

干支は暦だけでなく時間や方位や日づけを表す、日本では生活の基盤としても定着していきました。



「酉」に当てられた動物は鶏。ニワトリです。月は陰暦の8月。時刻は午後5時から7時あたり。方角は西。季節は秋です。

鶏は夜明けを知らせる鳴き声から、中国では吉兆をもたらす動物です。

酉年はなにか新しく物事を始め、挑戦するにはグッドタイミングとされています。さらに「とり」は「とりこむ」にも通じ、良いご縁や商機をばんばん取り込む、商売繁盛の1年でもあるといえます。占いなどでも、酉年生まれの方は商才があるといわれます。

また、「酉」の字にはもともと「果実が熟してきた状態」という意味があるそうです。そこから「まいてきたものが実り、刈り取る時期」「いままでの努力が報われる時期」ということにもつながっていきます。

酉年は商売繁盛にして収穫の季節という事になります。

皆さんにとって、特に第一志望に向けて日々努力している3年生にとって、その努

良い習慣は才能を超える。

力が報われる年となることを祈願します。

## 素敵な言葉 — 感動 can do —

2017年がスタートして2週間余り経過しました。

正月恒例の箱根駅伝を観た人もいます。青山学院大学が3連覇しました。

その青学の7区を任された田村和希君は、玖珂町出身で、小学生の時は、私たちが指導していたスポーツ少年団「玖珂キッカーズ」のメンバーでした。玖珂中でもサッカー部に所属しながら、部活が終わってから一人で黙々と走っている姿をよく近所で見かけました。高校は駅伝の名門、西京高校の陸上部に所属し本格的に長距離に取り組み、大学は青山学院に進みました。そして1年生ながら箱根駅伝に華々しくデビューを飾り、今年も3年連続で箱根駅伝を走りました。しかし、皆さんもご存知の通り、彼に異変が襲い、強い日差しの影響で脱水症状となり、15キロ付近からペースが大幅に落ちました。私たちは祈るような気持ちで残り6kmを見ていましたが、どうにかタスキをつないでくれました。

感動しました。

チームメイト、監督のサポート、そして彼を応援してくれた沿道の方々の声援があったからこそ、また彼自身、日々の厳しい練習と規律正しい生活と節制をしていたからこそ、頑張れたのだと思います。

感動、相手を感じて心が動くと書きます。ある雑誌に、感動=can do とありました。感動するから、I can do it.があるのでしょうか。

皆さんが今年1年、たくさんの感動を体験することで、多くのことを成し遂げることができると思います。

アメリカのNASAの門に「Dream can do, Reality can do」(思い描くことができれば、それが現実にできる)とあります。皆さんにとって、2017年が夢の実現に向けての大きな飛躍の年となることを期待します。

## 言葉は進化する—「見られた・見れた」使うのはどちら?—

文化庁の「国語に関する世論調査」の平成27年度版が今年の9月に発表されました。調査項目は下記の6項目です。

- (1) 言葉への関心について
- (2) 場面ごとの敬意表現について
- (3) 情報化の中でのコミュニケーションについて
- (4) 「ら抜き」, 「さ入れ」, 「やる/あげる」について



出典 #田村和希 hashtag on Twitter

(5) 言葉に対する感覚について

(6) 慣用句等の意味・言い方についてなど

この調査で、朝日新聞デジタル版 2016 年 9 月 22 日が(4)「ら抜き」、「さ入れ」、「やる／あげる」について」について取り上げた中で、「ら抜き」が多数派になったと報告しています。

「今年は初日の出が見れた」、「早く出れる?」といった「ら抜き」言葉を使う人の割合が、それぞれ「見られた」「出られる?」を使う人より多かったそうです。

ではなぜ、「ら抜き」が広がってきたのでしょうか。3つの理由があるそうです。

1つは、「見れる」という表現は静岡県から西の地域では古くから使われてきていること。2つ目は、「ラリルレロ」は発音しにくいいため、急いで話す場合や仲間うちの会話では省略されやすいこと。3つ目は、可能を表す「れる」にはそれなりの合理的な側面があること。

ところが、放送や新聞では「ら抜き言葉」は使わないそうです。それは、放送や新聞が「正しい」、「的確な」、日本語のよりどころとして期待されているからだそうです。

しかし、実際には、テレビ出演者の中にも「ら抜き」を使う人が増えていきますし、家庭でも、親も子も「ら抜き」で会話を交わすことが多く、学校でも、特に若い世代の先生方が無意識のうちに、「ら抜き」で話し、子どもたちがそれに倣っているのが現実です。

「ことばは時代とともに変化するもの」と言われます。文法的には誤った用法でも、使っている人が多数派を占めると、その言葉がやがて定着していきます。「ら抜き」もここまで広がると、もとは戻らないとみる専門家もいます。皆さんはどう思いますか。

## 共に生きる一障害を超えて一

昔、中学校の私の担任クラスに、全聾（ろう）のT君がいた。野球部のレギュラー争いに敗れて、5日間登校拒否した以外は全くトラブルなく、クラス一の人気者だった。相手の唇の動きで思いを受け止める彼がいたので、教員たちの授業内容は向上した。級友たちはお互いの感情を大切に、思いやりの心を育てることができた。卒業後、支援学校に進学したT君は、技術者になり社会へ貢献している。

T君の父母は、地域の公立小中学校が受け入れてくれたことを感謝されたが、私にとっても、全教員・全生徒にとっても、彼と共に生きた幸せは大きい。

障害を持ちながら、人生を生き活きと生きている人は多い。重度の障害者でも、皆宇宙に浮かぶ地球号の大切な同乗者だ。相模原事件（知的障害施設で発生した無差別殺傷事件）のような自分勝手な思い込みで、尊い命を否定することは絶対に許されない。

元広島県公立中学校長 渡辺 哲

人が成長するためには心が育つ必要があります。その心は、人と人の間や、人と自然との触れ合い、人と書との出会いなどで育ちます。

## ちょっとうれしかったこと一朝の些細な出来事より

年が明け、また毎朝、学校周辺を散策しています。

今日（12日）のことです。南岩国駅前の交差点で道端に落ちていたゴミをビニール袋に入れてみると、通学中の低学年の小学生2人が、バス停付近に落ちていたゴミを何回か拾って来てくれました。その時に、この子たちが拾ってくれたゴミはこの子たちのゴミではないなと思うと同時に、この子たちはきっとこれからもゴミを落とすことはないだろうと思いました。

家庭でのしつけで、「しつけの3原則」というのがあります。

1. 「おはようございます」と明るくあいさつをする。
  2. 呼ばれたら、「ハイ」と返事をする。
  3. はきものをきちんとそろえ、席を立ったら椅子を入れる。
- 皆さんもきっと幼稚園や保育園時代に教わったと思います。



また、「人の悪口を言わない」、「うそをつかない」、「誰とでも仲良くする」、「仲間外れをつくらない」、「困っている人がいたら手助けをする」、「悪いことをしたら謝る」、「約束を守る」、など、本当に当たり前のことですが、幼稚園や保育園の先生から習ったと思います。

「しつけの3原則」や幼稚園や保育園の先生方から何回も言われてきた、当たり前のことが、いまの皆さん、ちゃんと守れていますか。

朝拾うゴミの半分以上は、タバコの吸い殻です。我々大人が率先垂範して見本を見せないといけなのに、「ポイ捨てをしない」という、残念ながら当たり前のことができていません。

現在地球全体では、人口が急激に増加し、住む環境の悪化や食糧難の問題が発生しています。自然環境もどんどん悪化し、地球全体が大変な危機に直面していますが、そのすべての問題の原因は我々人間にあります。

誰もがより良い社会に住みたいと思うなら、そうなるように、私たちの考えや行動を変えていくことです。その根本的な解決策は、私たちが幼少時に教わったことの中にあるように思います。

### 24節気

**小寒（しょうかん）1月5日頃** この日を「寒の入り」ともいいます。寒さが一段と厳しくなる頃で、寒中見舞いを出したりします。「寒」や「寒の内」は、この日から「節分」までのおよそ1か月間で、厳しい寒さが続きます。

**大寒（だいかん）1月20日頃** 一年中で最も寒さが厳しい時季。「大寒」は、一年で最も寒い日の意味で、その日1日だけをいいます。

**立春（りっしゅん）2月4日頃** この日から立夏の前日までが暦の上での春です。寒さは最も厳しい頃ですが、降りそそぐ太陽の光からは、春の気配も感じられ始めます。節分の翌日で、「春立つ」ともいい、「立春」になることを、「寒明け」ともいいます。